



YMNだより

令和2年2月28日 第69号
発行 やまがたメイカーズネットワーク
(略称: YMN 代表 大津 清)
Web : <http://www.y-makers.net/>

令和元年度総会並びに研究会を開催しました

去る令和2年2月22日(土) 13:30~16:50山形市市民活動支援センター高度情報会議室で令和元年度総会並びに研究会を開催しました。研究実践報告では、第2回YMNものづくり&あいであコンテストで最優秀賞受賞者(下記)の発表がありました。

テーマ: 寺津地区3Dプリンターハザードマップ

受賞者: 寺々's (天童市立寺津小学校5年1組)

内容は、3Dプリンターで地域の立体模型を製作し、近くの川(模型)に水を流して、増水の様子を観察したものです。そして、防災ハザードマップと比較し、考察を行いました。地域の方に防災の問題提起をしていきたいということでした。素晴らしい発表でした。感動しました。

講師の古川先生からは、時系列に沿って、先生の取り組みをお聞きしました。先生の発想力、実践力、バイタリティに大きな刺激をいただきました。講演では、時代が静かに着実に変わっていくことを感じました。

ライトニングトークでは、発表者の着実な取り組みがありました。今後も楽しみです。また、NAOロボットに発表させたトークもありました。未来を感じさせるものでありました。皆さん、ご参加いただきましてありがとうございました。今回の内容を今後に生かしていきたいと強く思ったところです。



荘内銀行ふるさと創造基金パンフレットにYMN掲載

荘内銀行ふるさと創造基金募集用パンフレットにYMNの取り組みが掲載されました。下記Webの「概要」の左側に「荘内銀行ふるさと創造基金パンフレット」(PDFファイル)があります。

どうぞご覧下さい。

https://www.shonai.co.jp/aboutus/csr/koueki_jyosei.html

社会教育 やまがたメイカーズネットワーク(YMN)
助成事業:3Dプリンター活用事例集の作成~3Dプリンターの輪を広げよう~

2014年から山形県内の小学校、中学校、高校等に3Dプリンターを提供する活動を続け、学習や研究の中で有効に活用してもらうことにより、ものづくりを通じた論理的、創造的な思考力の養成に貢献してきました。

現在、提供数が100台を超えるまでに活動が広がっており、3Dプリンターの提供先が相互に情報交換しさらなる有効活用につなげられるよう、2018年度は当基金により、活用事例集を作成・配布しました。

「3Dプリンター活用事例集」では、提供先が地域の小学校や養護学校、県立博物館と連携した事例などを紹介しており、提供先にとどまらず、幅広い学習機会の創出につながっています。

今後も科学技術にかかわる教育活動を展開し、山形の未来を担う人材の育成に取り組んでまいります。



山形大学小白川キャンパスへ3Dプリンター贈呈

去る令和2年2月26日(水) 15:00~、山形大学SCITA(サイタ)センターでYMN教育用3Dプリンターの贈呈式を行いました。贈呈式には栗山恭直先生をはじめSCITAセンターの学生や職員の方が出席されました。栗山先生に、目録(贈呈書)を贈りました。この手作りYMN教育用3Dプリンターは山形県立寒河江工業高等学校情報技術科の生徒が製作しました。贈呈式の後、3Dプリンター講習会を行い、玉手小白川キャンパス長様にもご参加いただきまして感激しました。参加した学生は大変興味を持っていました。



この事業は山形市コミュニティファンド公開プレゼンテーション事業「山形の未来を担う人材育成事業~次代を支える人材に創造的な能力を育むSTEAM教育の推進~」を受けて実施したものです。山形大学SCITAセンターでは、理科活動普及を促進するために子ども向けに科学体験教室などを行っています。

ぜひ、3Dプリンターを活用して大学生の創造力・実践力・チャレンジ精神のアップに繋げていただくとともに地域の子供たちにも紹介していただければありがたいと存じます。豊かな発想をもつ学生からどんなものが出てくるか楽しみです。